

### 議事（1）種苗需給について

- 1 令和6年春季需給実績、令和7年春季需給見通し、令和8年春季山行苗需要量見通しについて説明し、需給情報の共有を図った。（別添「協議会資料」）

（意見）

需要者側

- ・6年春季について、苗木が不足したとの話は聞かなかった。

生産者側

- ・6年春季については、時期をずらすなど調整して出荷した結果、不足することはなかった。
- ・樹苗組合は年間400万本取り扱ってきたが、去年は390万本、今年は380万本と年々減少している。コンテナ苗は増えたが露地苗が減り、全体としては減少している。
- ・下刈り面積が増え測量等の遅れから5月までに森林組合の造林が完了せず、秋植えになることもある。来春の苗木注文は増えているが、増産したとしても、作られた苗木がきちんと植栽されるか心配している。
- ・露地苗からコンテナ苗への移行期であり、世代交代が始まっており、若い人がコンテナ苗生産に参入している。
- ・近隣県はコンテナ苗の割合が高いが、本県は昔から露地苗を作ってきた経緯があり、コンテナ苗は増えてはいるが、伸び率は低位である。
- ・増産意欲と力のある若い人に是非とも当組合に新規加入してもらって、組合の生産量を増やしたいと考えている。
- ・国有林の規格に見合う苗木は県内では賄いきれないため、森林管理署は県外から移入している。

### 議事（2）種苗移入承認について

令和7年春季の種苗移入承認申請については、異論もなく承認された。

以上